

地域包括支援センター職員に聞きました

# 認知症の方との関わり方 こんな時、どうすればいいの？

認知症であっても、接し方は一般の人と基本的に変わりません。周囲の人の理解や、笑顔で見守ってもらえる温かい支援があれば、認知症の進行は緩やかになります。

### ケース1

#### ご飯を食べたことを忘れる

「まだ食べてない」「食べさせてくれない！」と本人はすっかり忘れてしまいます。そんな時は、お腹が空いているようなら飲み物や軽いおやつを用意し、次の食事を待ちましょう。袋ごとなど、あるだけ食べてしまう場合は、1回分だけ出して残りはしまっておきます。

### ケース2

#### 幻覚・幻聴

「誰かが部屋にいる」「誰かが呼んでいる」など、実際にはない事を話す場合があります。「誰もいない」「声なんか聞こえない」と否定するのではなく、「誰か来ていたんだね」「何て言っているの？」など、話を合わせると安心して落ち着く事が多いです。

### ケース3

#### 自分の物が見つからない時、誰かが取ったかと思いつく

自分が疑われたとしても「自分は取ってない」と言い返して

### ケース6

#### 道に迷っている様子のお年寄りを見かけたら

迷っているかどうかを見分けるポイントは「季節感のない服装」「困った、不安そうな様子」「うろつくと、あてもなく歩き回っている」などです。驚かせないように、優しく声を掛けてください。  
住所や名前が分からない場合は、高齢介護課や警察に連絡してください。

### ケース7

#### 収集癖(物集め)

家庭のごみ、空き缶、賞味期限が切れた食べ物などを集めたり、集めた物をそのまま、しまひこんでしまうことがあります。一時的な場合が多いため、集められた害のない物については、そっとしておきましょう。不衛生な物であれば、本人に気付かれないようにこっそりと捨てるのが良いでしょう。

### ケース5

#### 何度も同じ話を繰り返す

話をした事が記憶に残らないため、何度も同じ話をします。「もう聞いた」など冷たい返事をせず、気長に聞く事が大切です。話題を切り替えることでもう別の話に乗ってくれる事もあります。

### ケース4

#### 買い物に出かけて帰れなくなったり、自宅に帰ると言ったら外出する

はいけません。自分の気持ちを落ち着かせて、失った本人が困っているのだと受け止めましょう。

「今日は日曜日でお休みですよ」「まだ早いのでお茶でも飲みませんか」と気をそらしましょう。また、一緒に散歩をすることで満足する場合があります。無理やり外出を止めるのではなく、居心地の良い環境にしてみましょう。

## 地域包括支援センターにご相談を

市内6カ所の地域包括支援センターでは、専門スタッフが介護に関する相談や、高齢者福祉サービスなどの申請を受け付けています。



**海老名東地域包括支援センター**  
東柏ケ谷3-5-1  
ウエルストーン相模野102  
☎(292)1411  
【担当地区】  
柏ケ谷・東柏ケ谷・望地



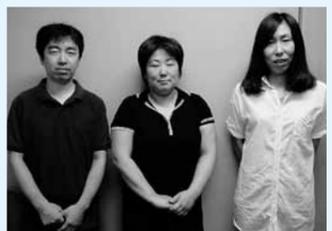
**海老名北地域包括支援センター**  
上今泉4-8-28  
えびな北高齢者施設内  
☎(231)6061  
【担当地区】  
上郷・下今泉・上今泉



**海老名中央地域包括支援センター**  
河原口1519  
海老名メディカルサポートセンター内  
☎(234)2973  
【担当地区】  
勝瀬・中央・国分南・国分北



**さつき町地域包括支援センター**  
さつき町41  
海老名市医療センター内  
☎(234)7226  
【担当地区】  
中新田・さつき町・河原口・社家



**国分寺台地域包括支援センター**  
国分寺台2-10-23  
国分寺台ケアセンター内  
☎(233)8881  
【担当地区】  
大谷・大谷南・大谷北・国分寺台・浜田町



**海老名南地域包括支援センター**  
杉久保南3-31-6  
えびな南高齢者施設内  
☎(238)7691  
【担当地区】  
中河内・中野・今里・上河内・杉久保・杉久保南・杉久保北・本郷・門沢橋

